

下 監 第 69 号
令和 4 年12月 9 日

下田市長 松 木 正 一 郎 様

下田市監査委員 小 泉 孝 敬

令和 4 年度定期監査（学校監査）結果報告書

地方自治法第199条第 4 項の規定に基づき定期監査を実施したので、その結果を
同条第 9 項の規定により次のとおり報告します。

1 監査の種類

定期監査（学校監査）

2 監査の対象

浜崎小学校、下田小学校、大賀茂小学校、朝日小学校

3 監査の期間

令和4年11月18日から令和4年11月29日まで

4 監査の範囲

令和4年4月1日から令和4年10月31日までの事務事業の執行状況及び施設の管理状況

5 監査の方法

下田市監査基準に準拠し、提出された監査資料等に基づき審査及び聴取を行い、事務事業の執行状況及び施設の管理状況について適正かつ効率的に執行されているかを監査した。

（1）本監査

監査委員による説明聴取及び質疑並びに施設等の調査を実施した。

（2）予備審査

監査委員事務局職員による帳票簿冊等関係書類の監査及び説明聴取並びに現地調査を実施した。

6 監査の結果

事務事業の執行状況及び施設の管理状況については、おおむね適正に執行されていると認められた。

なお、監査結果の概要は、次のとおりである。

（注）1 文中の率については、原則として小数点以下第2位を「四捨五入」としてある。

1 各校の概要

(1) 児童数、学級数

(単位：人、学級)

学校名	区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級	合計
浜崎小学校	学級数	1	1	1	1	1	1	-	6
	児童数	14	10	18	14	23	18	-	97
下田小学校	学級数	1	2	2	1	2	1	1	10
	児童数	29	35	42	32	38	33	6	215
大賀茂小学校	学級数	1	1	1		1	1	-	5
	児童数	6	10	6	9	5	7	-	43
朝日小学校	学級数	1	1	1	1	1	1	-	6
	児童数	12	16	16	16	14	14	-	88

(2) 教職員数

(単位：人)

学校名	職員数 (再掲:任用職員数)	うち、 市費職員	摘要
浜崎小学校	18 (3)	3	支援員2、用務員1
下田小学校	28 (10)	7	支援員6、用務員1
大賀茂小学校	13 (5)	2	講師1、用務員1
朝日小学校	18 (8)	2	支援員1、用務員1

2 予算の執行状況 (令和4年10月末まで)

歳出

(単位：円、%)

学校名	小学校管理事業			小学校教育振興事業		
	予算現額	支出済額	執行率	予算現額	支出済額	執行率
浜崎小学校	1,955,000	1,306,457	66.8	1,164,000	655,292	56.3
下田小学校	2,811,000	1,712,261	60.9	957,000	383,211	40.0
大賀茂小学校	1,421,000	681,429	48.0	1,094,000	686,055	62.7
朝日小学校	2,182,000	923,505	42.3	1,196,000	686,416	57.4

3 備品等管理状況

(1) 郵券の管理

受払簿と現物の照合をした結果、おおむね適正に管理されていた。

(2) 備品の管理

備品は、夏期休暇期間を活用し、定期的に教職員が備品点検簿を基に点検作業を実施していた。実施に際しては、職員で分担し、統一した備品管理の体制が整えられていた。

(3) 個人情報管理

学校における児童の個人情報保護及び情報セキュリティの管理は適切になされていた。教育委員会よりセキュリティ機能付きUSBを配付しているが、校外への持ち出しはしていない。また、児童用のタブレット等は施錠できる保管庫にて管理されていた。

(4) 理科薬品の管理

薬品保管庫の管理及び施錠は適正に行われていた。棚卸においては実施した形跡がない学校が見受けられた。所属長立合いのもと薬品管理簿の整備、定期棚卸を実施し、児童に危険が及ばないよう細心の注意を払われたい。

また、教育委員会は各校と連携し、不要な薬品の廃棄の実施に努められたい。

4 施設の維持管理

(1) 消防設備、遊具、AEDは、定期的な業者による保守、点検がされていた。また、業者による点検のほか、月ごとに職員による施設等の安全点検を全校が実施していた。

(2) 施設や敷地内で緊急を要する修繕については、その都度学校教育課により迅速な対応がとられていた。しかし、雨漏りや天井及び柱の腐食等、施設の躯体部分に未修繕箇所が多く見受けられた。特に給食の配膳に関わる箇所については衛生面の不安がある。事故の未然防止と児童の安全確保等のため、早急な対応を検討されたい。

5 防災・安全対策

災害発生時における児童の安全確保の観点から、各校で避難計画を作成し、地震、津波、土砂、火災等のケースを想定し、各校の置かれている状況に合わせた防災訓練を実施していた。また、賀茂地域局や消防署の協力により、防災講座及び煙体験を実施していた。

6 学校徴収金

学校徴収金は公金ではないが、現金を扱うものであること、またその性質上、準公金にあたるとして監査の対象とした。

学校徴収金は「下田市立小・中学校徴収金取扱基準」に基づいて処理がなされ、会計簿と通帳を確認した結果、おおむね適正に処理されていた。

7 その他要望事項

老朽化した学校施設の整備、修繕については子どもの安心・安全を最優先し、施設の老朽化対策、設備や備品の予算措置は、必要に応じ適切な対応を講じられたい。